

Tachikoku Times

No.0044 3月号

東京都立立川国際中等教育学校

<https://www.metro.ed.jp/tachikawa-s/>

Sunday March 20, 2022

自分の翼を 力強く広げて 第9回 卒業式

3月13日(日)に、立川国際の「第9卒業証書授与式」が行われました。昨年度同様、コロナ禍での卒業式となりましたが、卒業生保護者の方々に卒業式に参列して頂き、第9期生141名の旅立ちを祝福して頂きました。卒業生一人一人が壇上に上がり、第6学年の担任から名前を呼ばれ、「はいっ!」という元気な返事をしました。校長から卒業生全員に卒業証書が手渡されました。在校生の代表として参列した5年生の送辞の後、卒業生代表の答辞では、すべての人たちへの感謝の思いがあふれていました。6年間一緒に生活をしてきた仲間とお別れとなりました。6年間生活をしてきた立川国際を卒業し、4月からは自分で決めた新しい生活の中に飛び込んでいくことになります。その生活には、期待と不安がいっぱいあることでしょう。立川国際で蓄えた力をエネルギーにして、自分の翼を力強く広げて、大きく羽ばたいていくことでしょう。



令和4年度に向けて本校の生徒会の活動が進められています。そのひとつが「部活動紹介」です。コロナ禍前は、第1アリーナに集まり、各部活動がそれぞれの活動内容や、練習の様子・成果を発表し、新1年生に紹介をしていました

新しい仲間のために 準備を始めました

部活動紹介

1年間の 学習のまとめ

学年末考査 2/28~3/4

学年末考査が行われました。令和3年度の学習のまとめとなる考査です。毎日の授業の中で理解してきた内容、家庭学習で蓄えてきた力をすべて発揮して、各教科・各科目の考査に挑戦しました。うなずきながら解答用紙に答えを書き込む生徒、うつむいて考え込んでいる生徒の姿もありました。考査期間の翌週には、答案返却があり、結果を各自が受け止めていました。「考査が終わったから、少しのんびり…」ではなく、次年度(進級)に向かってすでに動き始めている立川国際の生徒たちです。

が、この環境の中では多くの生徒が一か所に集まることは相応しくないので、各部活動が紹介の動画を撮影し、観てもらう形式になりました。学年末考査後、各部活動が紹介ビデオの撮影に取り組んでいます。どんな動画が完成するのか楽しみですね。

まん延防止等重点措置が発令され、放課後の部活動が制限されていた頃、放課後の校内はいつもと異なり、少し静かな空間となっていました。そんな中、熱く活動をする生徒の姿がひとつの教室にありました。生徒会活動の一部である「中央委員会」が行われていました。中央委員会は、各学級のHR委員で組織されている委員会です。その日の活動のメインは「紙の再利用」です。各HR教室で不要となった印刷物等を回収し、紙の大きさ(A版・B版の大きさ)に区別して

SDG's意識向上 ペーパーリユース 大作戦



しました。整理された紙の一部は、「裏紙使用」として、自習に取り組んでいる6年生の「自習コーナー」に提供されています。「6年生が自習の時に計算用紙として利用してくれたら…」という思いで作業を続けていました。今回のこの活動を通して、校内だけではなく地域社会でも、資源を大切に作る心を持ち、実際にリサイクルやリユースの場面で、それらの活動に関わる行動につながっていくといいですね。